

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)	良く なっている	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	お客様の様子	・新規客も増えてきており、景気は上向きである。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・ガソリン価格が低下し、調子が良くなっている。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・大雪の影響を受けたが、特選ブランドや宝飾品等は、引き続き好調を維持している。インバウンドも、大幅な伸びをみせている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は、前年同月比で3千人以上増加している。売場の位置を尋ねる客が多く、新規の客が増加していると感じる。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上が前年同期を上回るようになってきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が回復してきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・テレビCMやキャンペーン等を継続的に行っている効果もあり、来客数は前年同期比で1.5%増加している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・2～3か月前から、来客数が前年同期比で2～3%伸びている。繁華街にある当店では、特に夕方から深夜にかけての来客数が多く、多少景気が良くなってきた。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・客の会話では、不景気だという話が少なくなっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車が売れる時期を迎え、例年どおりの順調な売行きとなっている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	単価の動き	・年初ということで、客の財布のひもが少し緩くなっている。
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	単価の動き	・インバウンドの増加によって1品単価が上昇している。単価の高い金製品にも動きがある。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	販売量の動き	・消費者は商品を品定めする機会を増やしているように見受けられ、購買意欲の高まりを感じる。
	その他レジャー〔プロスポーツ〕（経営管理担当）	お客様の様子	・新シーズンの開幕に向けて、期待の高まりを感じる。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・前月と同様に客単価は低下しているが、来客数は増加しているため、売上は横ばいである。ただし、低価格帯の商品は、包装経費の割合が高いため減益となる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・日常的に必要な仏花や墓花、セール品の安い花の売行きは良いが、それ以外の家庭に飾る花やギフト商品の動きが鈍い。余分な品物は買わない傾向は変わっていない。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・天候の影響もあるのか、来客数が減少している。12月はまあまあであったが、11月と1月は、風邪やインフルエンザの流行もなく、薬剤等の売上が非常に悪い。家計に余裕がないためか、客は本当に必要な商品しか買わない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・1月下旬は大雪警報によって観光客数が大きく減少した。結果的には雪は降らず空振りであったが、天気予報の影響の大きさを実感している。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・返礼品の需要が伸びず、贈答品の需要は伸びている。全体的な売上は変わらない。
一般小売店〔書店〕（営業担当）		販売量の動き	・年度末に例年発生する受注の増加により、販売量は増加しているが、今一つ伸びが感じられない。	
百貨店（売場主任）		お客様の様子	・初売りの売上は、曜日と暖冬の影響もあり良くなかった。後半になってようやく寒くなってきたが、これからコート類を購入するという動きはなく、今持っている物で済ませるようである。	

百貨店（経理担当）	お客様の様子	・今月は降雪がレジャーやサービスの消費にはマイナスに作用しているが、その影響を差し引いても消費には力強さはなく、消費者には慎重な姿勢が見受けられる。
百貨店（経理担当）	来客数の動き	・暖冬の影響で年初のクリアランスセールは盛り上がり欠けた。中旬以降は、気温が下がったが大雪の影響で厳しい状況にあり、天候に左右されている。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・中間層の財布のひもは依然として固い。今月は、寒波の影響で全体的に売上が落ち込んでいる。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・暖冬という環境要因だけでなく、生活環境が改善しない心理的な要因により、消費は一向に上向かない。輸出型の大企業は好調を維持しているようだが、国内向けの製造業等の状況は改善していないため、多くの消費者は、購買意欲が停滞したままである。
百貨店（販売担当）	単価の動き	・福袋の売上は不調であった。中旬以降は前半に比べて来客数は減ったが、目的買いや購入意欲の高い客が目立ち、高額商品にも動きがある。しかし、お買い得品を求める客の増加による客単価の低下が顕著で、前年同月比ではマイナスとなっている。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・初詣では、どこの神社も参拝者が最高となったが、さい銭は伸びていないようである。バーゲンでは、積極的に大幅な値下げをしても、売上は思うようには伸びていない。コンビニは新商品を出し続け、商品の質も良いため売上也伸びており、いつの間にか地域の小売業をリードしている。消費全体としては1月もあまり上向かず、景気の回復にはつながっていない。
スーパー（店長）	単価の動き	・商品値上げや生鮮食品等の価格高騰で、1品単価は上昇している。しかし、買上点数が伸びず、客単価は上がってない。
スーパー（店員）	単価の動き	・3か月前は果物を箱単位で購入する様子も見受けられたが、年末商戦が終わり、現状では袋詰めの商品を必要な分だけ購入する状況に変わっている。
スーパー（店員）	お客様の様子	・客の購入点数に、あまり変化がみられない。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・気温の変動が大きく影響している。今月中旬以降は寒くなって衣料品を中心に売上が増加しているが、前年末からの暖冬によるマイナス分は、まだ取り戻していない。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・販売政策として価格を下げた商品は売れている。景気の現状は、3か月前と比べて変わらない。節分の豆の売行きは良くない。
スーパー（人事担当）	お客様の様子	・周囲の様子をみる限り消費動向には変化がない。客は必要な品物は買うが、それ以外は買わない傾向に変化はない。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・来客数も客単価も、あまり変わりが無い。
コンビニ（企画担当）	それ以外	・同業他社の来客状況が変わらない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・外部環境に変化がない店でも、じわじわと来客数が減っている。ここ半年は、わずかながら来客数が前年割れとなる状態が続いている。
衣料品専門店 [紳士服洋品] (売場担当)	競争相手の様子	・クリアランスセールの時期になっても、販売不振が続いている。1月下旬は例年並みの寒さとなってきたが、暖冬の影響で、アパレル商品ではコート等のアウター類の動きが悪いと聞いている。
乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・相見積を取って最終的には金額で購入を決定する客が多く、シビアな状況である。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・これまでの販売量と水準的には大きな変化がない。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売台数は前年同期をやや上回っているが、販売単価は引き続き目標水準を下回っている。ガソリン代が安くなったため、ガソリン車に比べて割高なハイブリッド車を買控える動きもみられる。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型車投入の効果で、受注台数は前年同期を上回っているが、生産が追い付かず販売台数は前年割れとなっている。年度末が近い割には客の動きは重く、年度内の登録をまだ考えていないのか、商談ではあまり急ぐ様子がみられない。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売増加の時期に入ったが、販売台数は増加せず、計画の70%前後となっている。例年に比べてかなり厳しい状況が続いている。

住関連専門店 (営業担当)	単価の動き	・新築住宅、新築マンション共に伸び悩む一方で、住宅やオフィスのリニューアル物件は増えている。官公庁の工事については、新築物件が減っている。
その他専門店 [書籍](店員)	来客数の動き	・1月はお年玉等で購入する児童・学生や親子連れの客等の来店が多い。受験シーズンということもあり、関連商品の動きも良い。
その他小売 [ショッピングセンター](経理担当)	販売量の動き	・売上高は前年比で4.6%のプラス、来客数は前年比で1.6%マイナスの状況が続いている。
高級レストラン (役員)	来客数の動き	・正月の営業は、前年を上回る来客数や売上であったが、その後の動きは落ち着いている。景気の回復というよりは、曜日の影響による一過性のもものと見受けられる。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・自動車業界では繁忙が続いている。
一般レストラン (従業員)	お客様の様子	・客の話では、年末年始の出費がかさみ、外出を控えて自宅での晩酌が増えているとのことである。
その他飲食[仕出し](経営者)	販売量の動き	・売上は、新年会等の年明けの行事により、ある程度確保している。
観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・年末年始は全般的に良かったが、仕事始め以降は、特に食堂の来客数が劇的に減り、客単価も下がっている。全体では3か月前と同様に、前年割れとなる見込みである。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・年明けから受注案件や見積案件は増えてはいるが、6か月以上先の案件もある等、旅行時期がまちまちで、必ずしも、単月や本年度の受注増加とはなっていない。
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・春以降の予定は非常に多いが、商品単価については、あまり高くない。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・原油価格の下落や円高等、海外旅行には好条件となっているが、申込は今一つ伸びていない。大雪やスキーバスの重大事故等、旅行客の来店や申込等に水を差す要因もあるが、パリのテロ事件以来、全体的に海外旅行客が減少している。
タクシー運転手	お客様の様子	・正月は天候に恵まれ、初詣や食事、買物等でのタクシー利用が多かった。正月の出費増加のためか、中旬は少し悪くなったが、その後は大雪で非常に忙しい日もあった。特に週末等は新年会等で夜遅くまで客も多く、今月の調子もまあまあである。
タクシー運転手	来客数の動き	・長い間、繁華街への人出は少なく、例年と比べても少ない。
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・12月と同様、新規契約数は堅調であるが、解約数は増加傾向にある。客単価も低下してきており、状況は良くなっているといえるほどではなく、横ばいである。
通信会社(サブス担当)	販売量の動き	・スマートフォンやタブレット端末の利用が増え、固定のネット回線からモバイルWi-Fi等の契約に切替える客が増えている。
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・インターネットの需要等は、当面現状維持と見込まれる。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客からの問い合わせ件数には変化がない。
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・1月中旬までは順調に推移していたが、寒波の影響で、足元の来客数は減少している。客足はやや悪くなっているものの、景気としては悪くなっていない。
その他レジャー施設[劇場](職員)	単価の動き	・人気公演は例年より値上げをしても完売するが、値下げをしても売れない公演があり、販売数が伸びない。
その他レジャー[スポーツレジャー紙](広告担当)	販売量の動き	・販売量はやや減少気味ではあるが、何とか維持している状態である。
美容室(経営者)	お客様の様子	・客の話からは、正月や連休にもレジャー等にはあまり出かけず、金を使う人は少ないようである。
その他サービス[介護サービス](職員)	来客数の動き	・デイサービスや居宅介護の利用者数は変化がない。グループホームの利用者数にも変化がなく、落ち着いた状態である。
住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・販売量にはあまり変化はなく、横ばいである。

	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・下請業者においては、今まで仕事がなくなることがなかった業者でも、仕事が途切れるようになってい る。
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	販売量の動き	・来客数が伸びず、客単価も低く、販売量・売上高の 回復につながらない。
	商店街(代表 者)	販売量の動き	・商品の入替え時期で新商品のカタログやパンフレッ ト等を配布したが、反応は鈍い。注文だけでなく、問 い合わせや見積依頼等もほとんどない状況である。
	一般小売店〔酒 類〕(経営者)	お客様の様子	・飲食店経営者は、例年に比べ新年会の数が少ないと 言っている。飲食店街への人の流れも実際に悪い。
	百貨店(販売促 進担当)	来客数の動き	・インバウンドは堅調に推移しているが、日本人客の 売上が前年を大きく下回っており、トータルでも前年 実績を少し割っている。
	百貨店(販売担 当)	販売量の動き	・年末年始の休みが短かったことと暖冬の影響で、冬 物のクリアランスセールが不調であった。
	百貨店(営業企 画担当)	お客様の様子	・客は必要な物しか買わなくなり、ついでの買物が 減っている。
	スーパー(店 員)	販売量の動き	・来客数は変わらないが、全体的に客単価が低下して いる。客は最小限の商品しか購入しない。
	スーパー(総務 担当)	販売量の動き	・新聞折込チラシや販売促進のフェア等がことごとく 不調で、客への商品訴求が不足している。
	スーパー(商品 開発担当)	来客数の動き	・来客数は、前月比では約2%増加しているが、依然 として前年同月を下回っている。客単価にはあまり変 化なく、好調を維持している。
	スーパー(販売 担当)	お客様の様子	・客は、年末年始に金を使いすぎたようで、購買意欲 があまり感じられない。
	コンビニ(店 長)	販売量の動き	・1月は天候に恵まれ来客数は前年並みだったが、客 単価の低下で、売上は若干減少している。
	衣料品専門店 (販売企画担 当)	競争相手の様子	・競合他社からは、商品の動きが非常に鈍くなってい るという声を多く聞いている。
	家電量販店(店 員)	販売量の動き	・前年に比べ商品価格は値上がりしているが、売上金 額は前年並みである。
	乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・販売量は悪くはないが、全体的に客足が鈍ってお り、3か月前と比べると今一つである。販売数が減少 する時期ではあるが、徐々に手ごたえのない月となっ ている。
	その他専門店 〔雑貨〕(店 員)	来客数の動き	・来客数が前年同月に比べて約70%となっている。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・街中の人出が減っており、来客数も極端に少ない。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊者数は、3か月前には前年比3%の増加であ ったが、ここにきて前年比10~15%マイナスとなってい る。地元からの誘客で補おうとしているが、乗り切れ ない状況である。景気は下降気味となっている。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・予約の入り方が不安定になっている。
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・季節要因もあるが、宿泊者数は前年並みに落ち着い てきている。
	旅行代理店(経 営者)	お客様の様子	・少子高齢化により日本人旅行者が年々減少するのは 明白であるが、安・近・短の傾向がより一層強まって いる。インバウンドをどのように取り込むかが、経営 の基本となりつつある。
旅行代理店(従 業員)	来客数の動き	・例年、正月の来客数は多くないが、ハネムーン客が 休みを利用して来店する。しかし、今年はそういった 客が非常に少なかった。	
タクシー運転手 テーマパーク (職員)	来客数の動き	・前年同期に比べて、明らかに利用者が減っている。 ・雪不足や荒天等、不安定な天候によって来客数が著 しく落ち込み、厳しい状況である。	
パチンコ店(経 営者)	販売量の動き	・来客数や単価の動きが今一つで、販売量はやや悪く なっている。	
理美容室(経営 者)	来客数の動き	・例年1月は暇な月であるが、例年以上に暇である。	
美顔美容室(経 営者)	来客数の動き	・寒い日や雪の日はキャンセルが多くなり、来客数が やや悪くなっている。	
美容室(経営 者)	お客様の様子	・東京圏は景気が良さそうだが、地方はどんどん悪く なってきている。	

		その他サービス 〔介護サービス〕（職員）	単価の動き	・3か月以前と比較して客単価が下落している。財政的に厳しいのか、自治体の給付指導も厳格になっており、介護保険制度を利用した客への提案が、以前よりも難しくなっている。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・訪問客や現場での打合せにおいては、あまり良い話を聞かない。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	単価の動き	・受注量は横ばいであるが、材料費や人件費が上昇し利益が出ない状態が続いている。受注単価も前年同月を下回っている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・株価が下がっており、消費者の購買意欲が弱くなっている。
		百貨店（売場主任）	それ以外	・紳士靴の売行きが悪いためか、メーカーが商品を作り置きせず在庫が少なくなっている。商品がすぐに入荷せず、売上に影響している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・比較的暖かい日が続いたが、来客数は、なじみ客、バーゲン客共に減少している。購入する客も、単品買いがほとんどである。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年同期比で30%のダウンである。来客数も前年に比べて少ない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・12月が思った以上に忙しかった反動か、1月は暇である。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・客足は安い店に流れており、景気の良い話は聞かない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・住宅購入の希望者がいても、所得水準が低いいため住宅ローンの借入れができず、契約に至らない状況である。
企業動向関連 (東海)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	化学工業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・ポリエチレン原料の価格が下がり、収益が増加している。
		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・売上の3分の1を占める取引先からの受注が増え、今月から3交替のフル生産に入り、非常に好調である。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先で新機種の立ち上げに伴う設備投資の増加が続いている。
		輸送用機械器具製造業（研修担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の発売した新商品の受注が伸びており、それに比例して当社への受注も増えている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の動きは、前年同期比で3.8%プラスと良くなってきた。
		通信会社（法人営業担当）	競争相手の様子	・官庁の入札で、各メーカーとも商品供給が間に合わない状況のため物品調達先が確保できず、応札できなかった案件も出ている。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の運輸会社では、燃料コストの低下で大幅に利益が改善している。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・この時期になっても3月以降の案件予定が発生しており、零細企業にも案件の打診がきている。
	変わらない	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・暖冬による年末年始の出荷量の落ち込みは、ばん回が不可能で、非常に厳しい状況が続いている。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・株安傾向ではあるが、円高の影響もあり深刻ではない。経済に影響を与える要因として、特筆すべきことはない。
		化学工業（人事担当）	取引先の様子	・ジェネリック医薬品が増えている影響で、大手製薬会社では余裕資金が減り、研究開発領域を絞り込んでいる。製薬業界をみる限り、景気が上向いているとはいえない。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・現状では、忙しくて納期に間に合わないほどの状況が続いている。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年であれば中国でのスマートフォン関連の設備投資が落ち込む時期だが、想定したほどの落ち込みではない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・以前に比べると、景気が良くなっているとは感じなくなった。受注状況も、商品や地域によって差があり、一様ではなくなっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格には、あまり変化する要素がみられない。

輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	取引先の様子	・新型ハイブリッド車向けの部品は好調だが、それ以外の輸向向け製品等の動きは、あまり良くない。	
建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費者の購買意欲は非常に不安定である。土地・建築費共に高騰し、住宅の販売価格も上昇しているため、一般的なサラリーマンでは住宅取得が困難になってきている。	
建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今年度の決算、営業状況には、取引先等を含めて特に変わりがない。	
輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸入貨物量は前年同期を上回り続けている。国内輸送では、運転手不足は深刻であるが、軽油価格が下がっており利益増加に大きく貢献している。	
輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷動きは1月前半は好調であったが、下旬に入って失速し、低調となってきた。	
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・円安で輸出貨物が堅調である一方、輸入貨物は減少している。	
輸送業（エリア担当）	それ以外	・定時退社で18時くらいの電車に乗ると、混雑していることが増えている。以前は20～21時台に混んでいることが多かったが、早い時間帯に帰宅する人が増えている。残業をする必要がなくなっているのか、あるいは抑制されているのか、全体的に就業時間が短くなっている。	
通信会社（法人営業担当）	それ以外	・個人消費はGDPの6割を占めるが、財布のひもは固い。消費者心理にとって、ガソリン価格の低下はプラスだが、野菜の価格高騰は大打撃である。円安や株安は、一般市民には高みの見物で、給料・ボーナスや年金等、直接的に収入が増えないと、購買意欲は改善しない。	
金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車製造業では、社内でも車種によって忙しい部署と残業もなく暇な部署があり、二極化している。子会社や孫請け会社においても同様で、景気の良いところと悪いところが両方あり、どちらともいえない。	
金融業（企画担当）	取引先の様子	・年明けからの株安、円高の進行により、個人投資家の資産は含み益が減っており、利益確定や新規投資等、資金の動きも止まっている。	
不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の希望する売買価格には変化がない。	
不動産業（用地仕入）	受注価格や販売価格の動き	・マンションの販売価格には変動がない。	
広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・客の広告予算は、前年からほとんど増えていないため、広告の受注量等もあまり変わらない。	
公認会計士	それ以外	・客の業績は依然として厳しい。円安に伴うコスト増加が収益を大きく圧迫している。中小企業では人材の採用難が続き、人件費の上昇が収益性に大きな影響を与えている。	
行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の動きが変わらない。	
会計事務所（職員）	取引先の様子	・世界情勢が不安定なため消費や設備投資の動きがない。株価の下落も影響している。建設業者からは、今年に入ってからの受注が少ないという声を耳にする。	
会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・売上、利益共に伸びている客が多いが、依然として守りの姿勢が強く、新規事業や設備投資の動きはない。	
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・新規取引先により業績は順調に推移している。中国から日本への企業の引上げが、当分は続くと思込まれる。	
やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特にどの業種が悪いというわけではなく、全般的に受注量・販売量が減少している。
	出版・印刷・同関連産業（代表）	受注量や販売量の動き	・販売量は前年実績をクリアできない。客が出稿する際も、料金にはますますシビアになってきている。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量や取引量は、前年同期より10%ほど減少している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・客先業界での規制強化で、設備投資、リニューアルや新規店舗の建設が極端に少なくなっている。そのため、当社製品の売上も減少している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は、5～6%減少している。特定業種に限らず、工作機械や電気関係等、全般的にすべての製品において、悪い状態となっている。

		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・販売台数の減少に伴い、利益も下方修正の見込みである。
	悪くなっている	食料品製造業（営業担当）	それ以外	・当業界では、残業カットや基本給の実質引下げ等が行われている。生活水準の低下が懸念される。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(東海)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・賀詞交歓会や法人関係の新年会での派遣スタッフの利用が、例年以上に多くなっている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・自動車製造業において、年度末に向けての生産体制を確保するため、雇用拡大の動きがある。
		職業安定所（所長）	採用者数の動き	・新規求人数は、前年同月比で5.4%増加している。充足数は、前年同月比で22.0%の大幅な伸びを示している。人手不足を背景に、雇用への積極性が出ている。就職者数も前年同月比で40.0%増加と、大幅に伸びている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年6月以降連続で、有効求人数も8月以降連続して前年同月を上回っている。求職者数の減少で、有効求人倍率は1.42倍となっている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・有効求人倍率は1.93倍で、3か月連続して前年同月を上回り、好況であった10年前の水準を上回っている。海外と取引のある事業所に中国・新興国経済の減速による業績や雇用への影響を確認したところ、ほとんどないとの回答である。
		民間職業紹介機関（営業担当）	雇用形態の様子	・県内の中小企業事業者には、賃上げや正社員化を行う事業者が散見され、中小企業でも人材の確保が進展している。
		その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	周辺企業の様子	・取引先では積極的に採用を考えている企業が多く、就職イベントの出展企業数が増えている。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・電機関連業では、一部に残業規制の動きもあるが、自動車関連業では、繁忙が続いている。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・正社員採用による求人案件は順調に受注しているが、要件に該当する求職者が枯渇しており、人材紹介の成約状況に影響している。
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価が乱高下しており、不安定な状況が続いている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・1月に入って要員募集は増えてはいるが、ほとんどが3月一杯の就業であり、年度末に向けた予算消化のための募集が増えている。3か月前と比べて景気が良くなっているという印象はあまりない。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・1月は、前年同月を数%下回る求人数となっているが、年間での動きでみれば、依然として高水準で安定的に推移している。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新年になっても世の中には景気が良くする要素はない。芸能スキャンダル、食品廃棄物の横流しやバス事故等、気持ちが落ち込む話題が多く、消費者も企業もモチベーションが改善しない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・医療・介護分野の人手不足は慢性化している。小売業では、引き続きパートを中心に求人募集が続いている。募集時の採用意欲も、引き続き全産業で見受けられる。1月の求人数は、正社員、パート共に前年比で10%増加している。特に300人以上の規模の小売業においては、新規出店に伴い、人事部門等で大幅な伸びを示している。
		職業安定所（職員）	それ以外	・新規求人の賃金は、引き続き前年同月比で上昇傾向にあるものの、特に求人数が多い一部の業種では、下降している。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・消費は上向かず、企業の業績も向上していない。業務量はあるものの人手不足のため、労働環境が厳しくなっている。正社員の求人募集でも、残業が多い等、高待遇な案件は少なく、求職者は、契約社員やパートの募集にやや流れている。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・大手企業では求人数が減少している。前年度は上半期から下半期にかけて採用計画数が伸びていたが、今年度は採用計画数を引き下げた企業が多い。下半期に入ってから大手企業よりも中堅・中小企業での採用支援が増えてきている。

	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・有効求人倍率は引き続き高いが、企業が要望する採用条件のハードルは下がらないため、採用決定にまで至る件数には、変化がない。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・医療・福祉分野の人手不足は慢性化しているが、全体的には求人募集の動きは鈍くなっている。
悪くなっている	-	-	-